

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○			○		○	○	○	

## 企業の概要

社名	EDGE株式会社	都道府県	東京都
業種	情報通信業	従業員数	11人
事業概要	社内コミュニケーション活性化SNS「エアリー」の提供		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則の本則や細則で定めている
テレワーク担当部署	経営企画室
テレワーク対象者	エンジニア、営業、マーケティング、管理部門、QA、CS
実施者数	11人
実施日数	週2～3回程度

## テレワークの導入・拡大の経緯

テレワークを導入することで、一人ひとりが自分らしく働ける環境を作り、創造的業務を始め業務に集中できるようにするため。

## テレワークの概要・特徴

■社員が自己判断でテレワークの実施が可能  
 テレワークを利用する際、基本的には上長の許可は不要です。創造的業務をするためなど、在宅勤務の必要性があれば、社員が自己判断で実施できます。在宅勤務の業務内容のレポートも不要です。

■簡単なテレワーク申請  
 前述の通り、上司への許可申請は不要です。チームメンバーと協力するために、毎日の勤怠(遅刻や早退などの連絡)に登録するだけでテレワークで働くことができます。作業時間は30秒程度です。

■クラウドツールの活用  
 自宅PCはもちろん、モバイルからも業務ができるクラウド系のツールを業務で利用しています。主には、GoogleAppsと自社サービス「エアリー」です。エアリーはアプリ対応もしているので、モバイルワークで入力などのストレスを感じることはありません。

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

■ダイバーシティ推進:育児との両立  
 出社をすると、保育園のお迎えのために、17時に帰宅する必要がありますが、中には1時間20分近く通勤にかかる社員もいます。そのようなケースでは、週4日で在宅勤務を活用し、全社会議のある週1回のみ出勤をしています。結果、育児との両立による退職を防ぐことができます。

■エンジニアの働きがい向上  
 エンジニアの業務は、バグの発生防止のため、集中できる環境が大切です。在宅勤務という選択肢が選べることで、各自集中できる環境を選択することができます。また、弊社ではリアルコミュニケーションだけでなく、オンライン上のコミュニケーションも習慣にしているため、勤務時間も日中ではなく、夜が集中できるメンバーは、夜に業務をすることができます。採用難易度の高いエンジニアの満足度を高めることができました。